

伊賀市の 決算状況を 報告します



《令和元年度決算》

9月に行われた第5回伊賀市議会
会で、令和元年度の一般会計・特
別会計・企業会計の決算が認定さ
れました。今回はその概要をお知
らせします。

※端数処理の関係で、決算書の数
値と一致しない場合があります。

【問い合わせ】

財政課

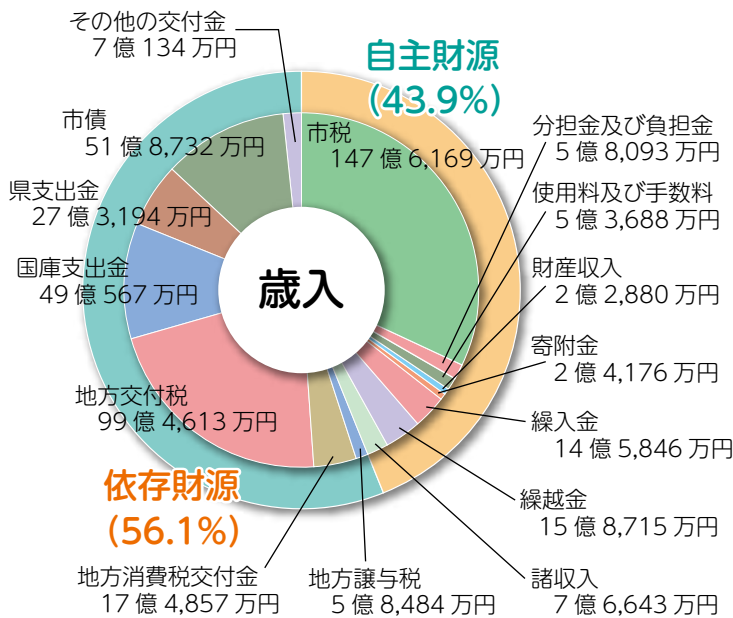
☎ 22・96008 FAX 24・2440

✉ zaisei@city.iga.lg.jp

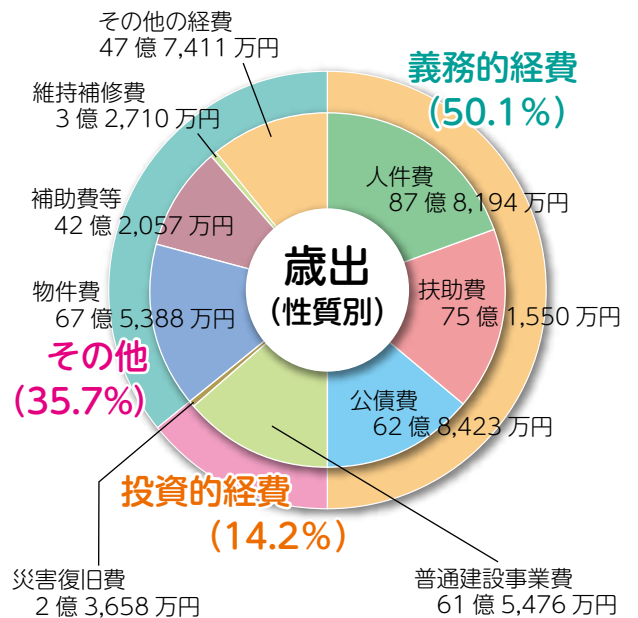


■ 一般会計

歳入：459億6,791万円

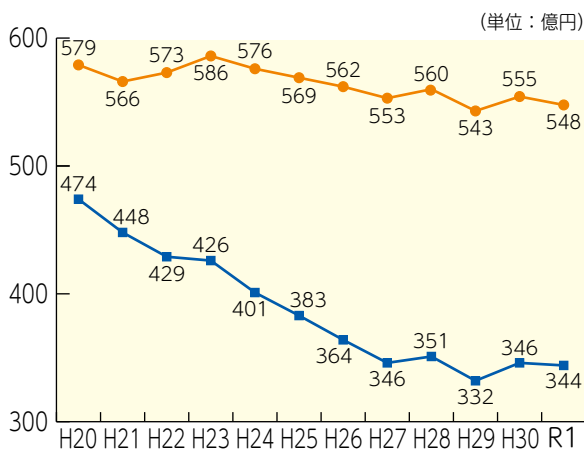


歳出：450億4,867万円



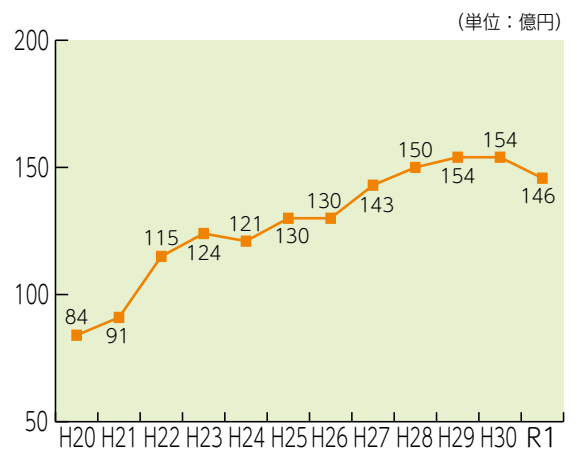
市債残高：548億円

市債は、いわゆる市の借金です。
市民1人あたりでは、約38万円です。



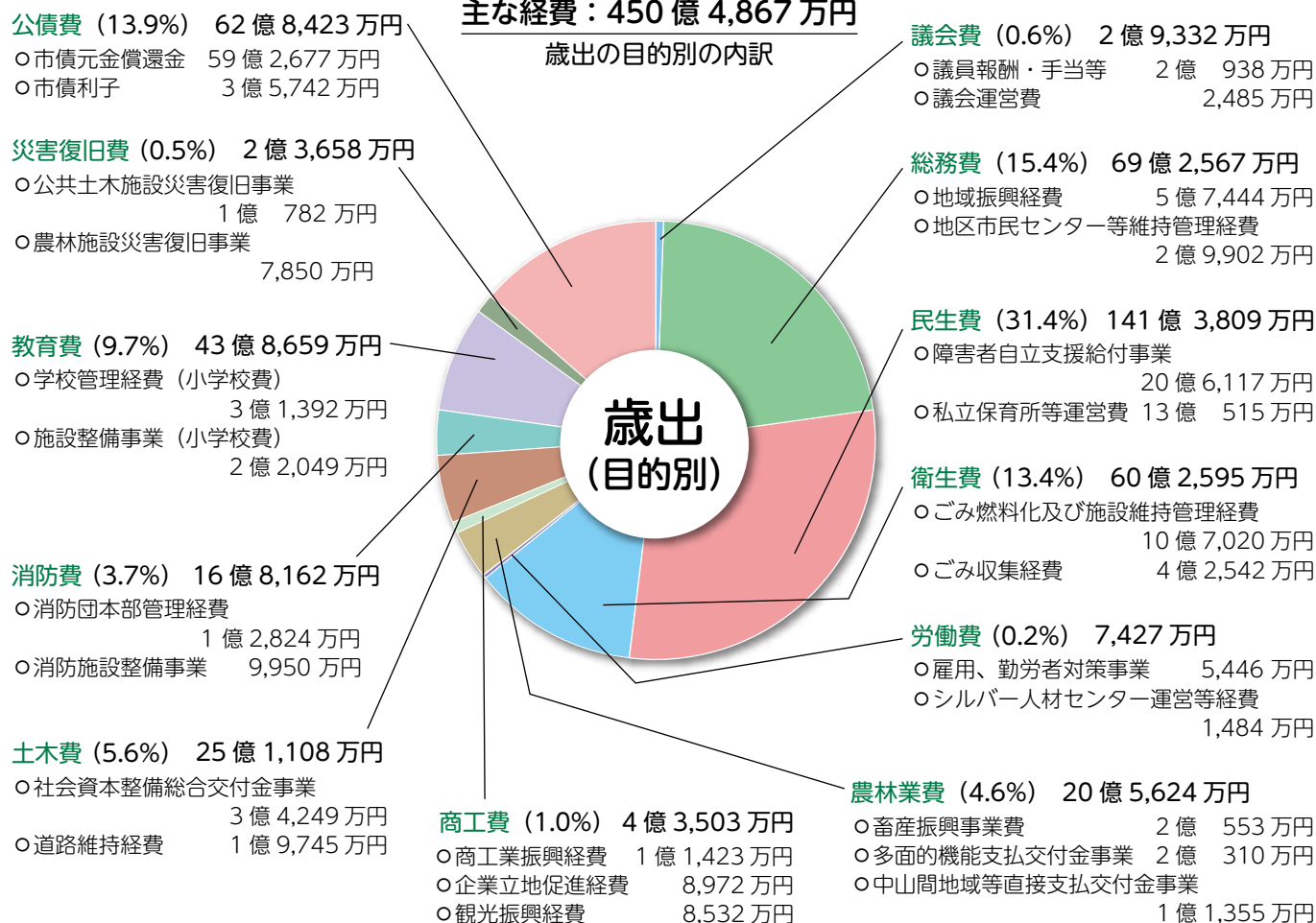
基金残高：146億円

基金は、いわゆる市の貯金です。
市民1人あたりでは、約16万円です。



主な経費：450億4,867万円

歳出の目的別の内訳



市有財産の状況

区分	土地	建物	主な施設
行政財産	公用財産	106,382㎡	庁舎、消防施設など
	公共用財産	3,812,635㎡	学校、図書館、公営住宅、公園など
普通財産	2,834,922㎡	30,158㎡	上記以外（山林など）
合計	6,753,939㎡	530,692㎡	

■特別会計（公営企業会計を除く。）

市には、国民健康保険事業など6つの特別会計と2つの財産区会計があります。

前年度と比べると、特別会計全体の基金残高は約2億円の減、市債残高は約500万円の減となります。

会計名	歳入額	歳出額	差引額	基金	市債	
特別会計	国民健康保険事業	94億5,023万円	95億5,068万円	▲1億45万円	2億784万円	550万円
	住宅新築資金等貸付	1,283万円	7,255万円	▲5,972万円	11万円	863万円
	駐車場事業	4,535万円	4,525万円	10万円	-	-
	介護保険事業	109億1,665万円	104億403万円	5億1,262万円	7億1,956万円	-
	サービスエリア	1,005万円	955万円	50万円	6,109万円	-
	後期高齢者医療	12億1,294万円	11億9,820万円	1,474万円	-	-
財産区	島ヶ原財産区	3,057万円	2,941万円	116万円	2億4,891万円	-
	大山田財産区	1,871万円	1,573万円	298万円	1億286万円	-
合計	216億9,733万円	213億2,540万円	3億7,193万円	13億4,038万円	1,413万円	

■財政の早期健全化・再生に関する指標

(財政健全化法に基づく指標)

健全化判断比率は、地方公共団体の赤字の大きさ(実質赤字比率、連結実質赤字比率)、借金返済額の大きさ(実質公債費比率)、将来に負担が見込まれる実質的な負債の大きさ(将来負担比率)を指標化したものです。

実質公債費比率・将来負担比率については、市債残高が減ったことなどにより昨年度の数値から改善しています。すべての指標において早期健全化基準・財政再生基準を下回っており、健全な財政状況を維持していると言えます。この基準を超えると、健全化に向けた対策が必要となります。



(単位：%)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	資金不足比率		
					病院事業	水道事業	下水道事業
伊賀市 ※()内は平成30年度数値	該当なし	該当なし	11.4 (11.9)	77.2 (81.3)	該当なし	該当なし	該当なし
早期健全化基準	11.95	16.95	25.0	350.0	経営健全化基準 20.0		
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	—	—		

※伊賀市の場合、「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は、黒字のため『該当なし』となります。

■病院事業

■事業概要

令和元年度は、医療情報システム・放射線情報システムの更新や人工透析装置、内視鏡用超音波観測装置、上部消化管汎用ビデオスコープなどの医療機器を購入し、診療機能の充実に努めたほか、合併浄化槽設備等改修工事を実施しました。

また、5人の常勤医師を採用し、診療体制の向上に努めました。

経営状況は、第2次市民病院改革プランに基づく経営の効率化などに取り組み、令和元年度は昨年度に引き続き黒字となりました。

今後も医療サービスの向上と良質で高度な医療の提供、福祉の増進に努めるとともに、運営の効率化を図りながら、経営改善を更に進め、皆さんの期待に応えることができる病院をめざします。

■利用状況

	令和元年度	1日平均(※)
外来患者数(人)	69,260	288
入院患者数(人)	71,826	196

※外来患者1日平均人数は、外来患者数を年間診療日数の240日で割っています。

■市債残高 16億9,728万円

■病院事業の決算(消費税・地方消費税を含む)

収益的収支	予算額	決算額	繰越額	差引
事業収益	48億738万円	46億2,609万円	—	増減額 ▲1億8,129万円
事業費用	46億1,250万円	42億9,820万円	—	不用額 3億1,430万円
資本的収支	予算額	決算額	繰越額	差引
資本的収入	5億9,270万円	5億4,218万円	—	増減額 ▲5,052万円
資本的支出	6億6,818万円	6億1,836万円	3,470万円	不用額 1,512万円

【問い合わせ】 上野総合市民病院病院総務課 ☎24-1111 FAX 24-1565

■事業概要

令和元年度の主な事業は、伊賀市水道広域化促進事業計画に基づき、上神戸・比土地内で新規給水工リアの拡大事業を、千戸・緑ヶ丘南町・上野車坂町・阿保・小田町内で配水管更新事業に取り組んだほか、遠方監視設備設置工事などにより施設機器の更新を図り、安定して水道水を供給できる環境を整備しました。今後も安全安心で良質な水道水を安定的かつ持続的に供給できるように努めます。

■令和元年度末の給水状況

	令和元年度	平成30年度からの増減
現在給水戸数(戸)	40,443	239
現在給水人口(人)	90,093	▲1,054
年間総配水量 A (m ³)	13,893,931	▲243,096
年間総有収水量 B (m ³)	11,458,274	▲94,538
有収率 B/A (%)	82.5	0.8

■市債残高 126億4,060万円

■水道事業の決算(消費税・地方消費税を含む)

収益的収支	予算額	決算額	繰越額	差引	
事業収益	34億3,355万円	34億7,891万円	—	増減額	4,536万円
事業費用	31億9,243万円	30億9,952万円	71万円	不用額	9,220万円
資本的収支	予算額	決算額	繰越額	差引	
資本的収入	5億4,105万円	5億4,845万円	—	増減額	740万円
資本的支出	19億7,517万円	19億2,895万円	—	不用額	4,622万円

■事業概要

令和元年度の主な事業は、公共下水道事業では、上野新都市浄化センター汚泥濃縮槽防食工事に着手しました。特定環境保全公共下水道事業では、柘植浄化センター計装設備工事・島ヶ原浄化センター通報装置更新工事に着手しました。農業集落排水事業では、平成27年度から取り組んでいた山田南地区について、処理場・管路施設が完了し、令和2年4月1日より仮供用を開始しました。また、上三ヶ区地区・中矢地区農業集落排水施設の通報装置更新工事に着手しました。今後、下水道普及率の向上を通じて公共用水域の水質保全に努めます。

■令和元年度末の業務量

	令和元年度	平成30年度からの増減
行政区域内人口 A (人)	90,572	▲1,110
処理区域内人口 B (人)	34,639	▲714
処理区域内水洗化人口 C (人)	29,230	▲388
普及率 B/A (%)	38.2	▲0.4
水洗化率 C/B (%)	84.4	0.6
年間有収水量 (m ³)*	3,826,276	▲5,195

*使用料徴収の対象となった汚水量

■市債残高 146億9,342万円

■下水道事業の決算(消費税・地方消費税を含む)

収益的収支	予算額	決算額	繰越額	差引	
事業収益	30億7,279万円	27億72万円	—	増減額	▲3億7,207万円
事業費用	25億7,457万円	23億2,925万円	2,605万円	不用額	2億1,927万円
資本的収支	予算額	決算額	繰越額	差引	
資本的収入	16億3,419万円	12億1,828万円	—	増減額	▲4億1,591万円
資本的支出	22億5,503万円	17億6,160万円	4億357万円	不用額	8,986万円

【問い合わせ】 上下水道部経営企画課 ☎24-0001 FAX 24-0006